

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）
法人単位事業活動計算書

（自）平成30年4月1日 （至）平成31年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	85,857,567	87,364,404	-1,506,837
	障害福祉サービス等事業収益	533,017,178	511,327,732	21,689,446
	経常経費寄附金収益	20,000	215,000	-195,000
	その他の収益	0		0
	サービス活動収益計（1）	618,894,745	598,907,136	19,987,609
	費用			
	人件費	358,546,629	329,568,498	28,978,131
	事業費	64,460,391	58,808,991	5,651,400
	事務費	65,109,296	65,252,580	-143,284
就労支援事業費用	87,679,505	89,516,251	-1,836,746	
減価償却費	55,481,460	59,932,904	-4,451,444	
国庫補助金等特別積立金取崩額	-19,660,908	-20,401,900	740,992	
サービス活動費用計（2）	611,616,373	582,677,324	28,939,049	
サービス活動増減差額（3）=（1）-（2）	7,278,372	16,229,812	-8,951,440	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	149,820	152,597	-2,777
	その他のサービス活動外収益	6,649,360	6,768,585	-119,225
	サービス活動外収益計（4）	6,799,180	6,921,182	-122,002
	費用			
	支払利息	2,420,916	2,784,293	-363,377
	その他のサービス活動外費用	1,231,080	1,208,182	22,898
	サービス活動外費用計（5）	3,651,996	3,992,475	-340,479
	サービス活動外増減差額（6）=（4）-（5）	3,147,184	2,928,707	218,477
	経常増減差額（7）=（3）+（6）	10,425,556	19,158,519	-8,732,963
特別増減の部	収益			
	固定資産売却益	200,000	100,000	100,000
	サービス区分間繰入金収益	0	34,655,582	-34,655,582
	サービス区分間固定資産移管収益	0	658,068	-658,068
	特別収益計（8）	200,000	35,413,650	-35,213,650
	費用			
	固定資産売却損・処分損	3	2	1
	サービス区分間繰入金費用	0	34,655,582	-34,655,582
	サービス区分間固定資産移管費用	0	658,068	-658,068
	特別費用計（9）	3	35,313,652	-35,313,649
特別増減差額（10）=（8）-（9）	199,997	99,998	99,999	
当期活動増減差額（11）=（7）+（10）	10,625,553	19,258,517	-8,632,964	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額（12）	358,037,778	314,759,061	43,278,717
	当期末繰越活動増減差額（13）=（11）+（12）	368,663,331	334,017,578	34,645,753
	基本金取崩額（14）	0	0	0
	その他の積立金取崩額（15）	0	24,021,244	-24,021,244
	その他の積立金積立額（16）	360	1,044	-684
	次期繰越活動増減差額（17）=（13）+（14）+（15）-（16）	368,662,971	358,037,778	10,625,193